

学生の皆さんへ

全校的な面接授業再開後のコロナ対応について

校長

はじめに

全国では、新型コロナウイルス感染症の第2波が拡大を見せている状況にありますが、学生の皆さんには感染防止にご協力頂きありがとうございます。

本校では、予定していたように9月1日以降、健康確認や感染予防対策を行いながら全校的な面接授業を再開しますが、コロナ対策のみならず熱中症にも気をつけて、元気に登校してください。なお、授業再開後の行動についても、7月10日に周知した「面接授業再開に向けた学生の行動指針」並びに、近々発表します「新しい生活様式での学校生活」、に沿って、感染予防に万全を尽くして頂くようお願いします。

万が一、自身が感染者、あるいは濃厚接触者となった場合、また、同居家族など身近な人がそうした状況になり、自身がPCR検査を受けることになった場合などには、速やかにクラス担任（専攻科生は、専攻主任）に連絡をして下さい。感染者が出た場合には、学校では感染拡大防止のために以下の手順で対応します。特に「4. 個人情報保護並びに誹謗中傷行為の防止」については、格別の心配りをご協力をお願いします。

<学生が感染者となった場合の対応>

1. 初動対応

- 1) 感染者の情報を得た教職員は、速やかに校長（及び副校長、並びに事務部長）に状況を報告する。
- 2) 事務部長（総務課）は、帰国者・接触者総合相談センターへ感染者があったことを連絡し、感染者及び濃厚接触者の処置、学内の消毒除菌、そして、学級あるいは学校の閉鎖等について指示を仰ぐ。
- 3) 校長は、危機対策本部会議を招集し、帰国者・接触者総合相談センターの指示を受けて、消毒除菌対応、学校や学級の閉鎖、授業、学寮運営、学生や保護者への説明、学外への発表等について方針を確認する。
- 4) 休校等、今後の方針について、学生、保護者に連絡する。

2. 学生が濃厚接触者となった場合、また、同居家族など身近な人がそうした状況になり自身が PCR 検査を受けることになった場合など
 - 1) これらの情報を得た教職員は、速やかに校長（及び副校長、並びに事務部長）に状況を報告する。
 - 2) 学生は、学校が指定する期間、自宅待機（公認欠席）とする。

3. 授業について
 - 1) 帰国者・接触者総合相談センターの指示に従い、所定の期間、学級閉鎖、学校閉鎖をする。
 - 2) 閉鎖期間中、又は、学生が自宅待機となった期間、遠隔授業が可能な講義については、できるだけ授業を行う。

4. 個人情報保護並びに誹謗中傷行為の防止

上記 1. 4) で感染者、濃厚接触者等があったことを学生、保護者に周知する際には、同時に関係者への誹謗中傷行為が行われないよう注意喚起をしますが、万が一、そうした誹謗中傷行為等が確認された場合は、いじめ及び信用失墜行為と見なされる可能性がありますので、くれぐれも注意して下さい。

おわりに

今後、しばらくはコロナウィルスとの共生（ウィズコロナの時代）が続くことが予想されます。しかし、これまで人類は何度もこうした災害を乗り越えてきましたが、今回も、必ず治療薬やワクチンが開発されて終結の日が訪れると思います。本校も、社会の動向を慎重に見守りつつ、しかし決して立ち止まることなく、ウィズコロナの時代に対応しながら進化していきます。

時代は情報化社会と言われた Society4.0 から、更にこれを発展させた高度情報化社会 Society5.0 に進化しつつあります。本校にも本年度末には、一般教育棟に 5G の基地局の設置が完成し、高速通信環境での教育や研究開発にアプローチする予定です。ぜひ、学生の皆さんも、コロナによって立ち往生するのではなく、コロナ対策は万全を期した上で、来たるべき皆さんの未来に備えて、日々奮闘努力し自分自身を成長させてください。